

## テーマ すべては子どもたちのために！～子どもたちの「心のサイン」に対してPTAは何をしたか～

岐阜市立則武小学校PTA 和田 敏 日比野隆司 高橋 聖二 近藤知名海 佐々木 恵

千田 雅子 今川ふみ子 吉田久美子 永山 祐実



### 1. はじめに

岐阜市立則武小学校は、明治6年「学校」として開校してから今年で創立143年を迎えます。校庭の南側には、樹齢100年を超える大きな「くすの木」が学校のシンボルツリーとなっています。

### 2. これまでの取り組み

平成26年度にコミュニティースクールの指定を受け、学校・保護者・地域住民の代表者で構成する「学校運営協議会」を設置しました。

また、愉快なお父さんたちで結成する「のりたけおやじクラブ」では力仕事や夏祭りを盛り上げる出店、公園清掃や親子ドッジボール大会開催、シューズをコートジボワールに送る「愛のくつ運動」など幅広い活動を行っています。



さらには、学校のシンボルツリー「くすの木」をイメージしたキャラクター、妖精の『くすっぴー』が、子どもたちのデザインで誕生しました。岐阜大学の協力で「くすっぴー体操」が完成、YouTubeの動画配信により「くすっぴー体操」の普及を図っています。

### 3. 現状の課題

今年度、学校の体制が大きく変わり、これまで受け継がれてきた活動が途切れたり、学校の情報が保護者に届かない状況が発生することで、保護者の「戸惑い」が「心配」へと変わりました。

保護者が参加する臨時の学級懇談会を開きましたが解決せず、このような事態になるまで、子どもたちの変化に気づき行動してあげられなかったのか？情けない気持ちでいっぱいでした。

### 4. 『心のサイン』の気づき

この様な時に学んだ言葉が『心のサイン』です。これは、問題行動を起こす子＝悪い子ではありません。子どもたちは、人には言えない悩みを抱えていて、本当は自分を受け止めて欲しいのです。問題をおこすことは、裏返すもともと自分を見て

欲しい気持ちの現れ『心のサイン』なのだとして理解することを教えられました。

### 5. 私たちの取り組み

PTA本部役員で話し合いを重ねた結果、

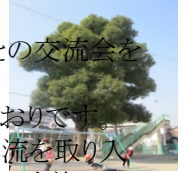
- ◆まずは、子どもたちの現状を理解すること
- ◆子どもたちのためにも保護者と学校との信頼関係を回復すること
- ◆信頼関係を回復するためには、双方のコミュニ

ケーションが必要

などの意見から、まずはPTAと先生方との交流会を開催することになりました。

交流会での意見交換結果は、次のとおりです。

- (1) 議論する内容の通知やグループ交流を取り入れ、意見を出しやすい「学級懇談会」改善
- (2) 緊急時の連絡しかなかった学校メールを見直し保護者への連絡手段として活用の改善
- (3) 困っている事や相談事があれば、気軽に学校へ電話できる雰囲気作り
- (4) 学校の様子が気になれば、いつでも気軽に学校を訪問できることを保護者に周知



### 6. 皆さんにお伝えしたいこと

今回の経験を通じ感じたことをお伝えします。

- ◆子どもたちの「心のサイン」を見逃すと、子どもたちのトラブルが多くなります。
  - ◆子どもたちのトラブルが多くなると、保護者と学校との関係が気まづくなります。
  - ◆しかし、その様な時こそ保護者と学校が連携して子どもたちと向き合えないといけない。
  - ◆連携するためには、両者の信頼関係を築く必要があります。
  - ◆信頼関係を築くためには、保護者同士や、学校とのコミュニティが重要です！
- 気薄な関係になりがちな昨今、それができる場面は、まさにPTA活動です！
- 結論、『状況を変えようとするならば、まずは、私たち親自らが変わり行動することです！』